



広報あくな

第389号

住民基本台帳人口と世帯数		(5月1日現在)	
人口	30,320	(-18)	
男	14,151	(-1)	
女	16,169	(-17)	
世帯数	9,445	(+37)	
()	内は前月比		

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
 昭和54年6月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



収穫にはずむ手

メロンの出荷盛ん

甘い香りを漂わせて、いまプリンスメロンが最盛期を迎えています。市内では山波地区を中心に、多田や脇本瀬之浦などの農家が十三割に栽培。約二百、四千七百万円の売り上げを目指して、東京市場に出荷しています。初出荷時には、一ケース(四割)二千三百円前後の高値でしたが、最盛期を迎えて千四百円前後に暴落。それでも収穫とあって、メロンをハサミで刈り取る農家の人たちの手は軽やかです。

収穫に農家の表情は明るい(山波地区)

6月号

総合表彰式

地域社会への貢献たたえ

市政功労者などを表彰

昭和五十三年度総合表彰式は、五月十一日市民会館ホールで開かれ、昨年度の区長さんなどが市政功労者として表彰されました。また、地域社会への貢献をたたえて、吉田市次郎さんら七十歳以上の五人を特別表彰しなほ、優良農林業経営者や水産業功労者など産業振興功労者なども表彰しました。

式典では川畑強市長が「全市民的な努力のおかげにあつて、常に愛郷心に燃え、地域社会の発展と福祉向上のため、献身的な活動を続けてこられた受賞者の皆さんに敬意を表します。今後とも郷土発展の

ため、阿久根市の指導者として活躍ください」とあいさつしたあと、表彰に入りました。



総合表彰式が行われた市民会館ホール



「今後も市政発展のため活躍ください」とあいさつする川畑市長

を、市民の模範として特別表彰、引き続き池上博義さんから区長勤続十年の三人と、勤続五年以上で区長を退職された山平正弘さんら四人を、区長永年勤続表彰しました。

このあと、各部門ごとの表彰が行われ、納税部門では昨年度の区長さんが納税功労者として表彰を受け、農林部門では優良小組合や農政協力者、水産商工部門では水産業功労者や商工業功労者など



納税功労者表彰を受ける倉津武三さん

が、次々に表彰を受けました。

なお特別市民表彰と区長永年勤続表彰は次のとおり。(敬称略)

特別市民表彰

地方自治部門

吉田市次郎

産業経済部門

濱之上文雄

社会福祉部門

洲崎 太助

区長永年勤続表彰

春田 菊雄

勤続十年

丹宗 久枝

勤続五年以上退職

池上 博義

松木 幹夫
桐尾 孫兵衛
前田 季弘
築地 新格
宮原 貞純
山平 正弘

〔納税関係表彰〕

▽市税納入優良団体表彰

一等(各納期完納)

高松、市役所納税、遠見ケ岡、倉津、東牧内、大林、牟田、永田上、丸内、大下、米次、尾原

田代中下、木佐木野、長谷、桑原城上下、柘、宮原、横手、長野、羽田、佐淵、飛松、柳、大川島、馬見塚、落、本之牟礼、牛之浜、仲仁田、川畑、川畑中

中原敷、的場、尻無上中下、藤本浜、筒田、朝野上下、大酒川

瀬之上、梶之西、深田、大瀬、小瀬、三笠農協、福本郵便局、野村水産、久丸納税、聖園老人ホーム、桜ヶ丘荘、蓮の実園

二等(年度未完納)

八郷、町納税、中央通り会、中村、折口東、水田下、陣之尾、内田、馬場、尾崎、弓木野、脇馬場、瀬之下、橋之東、大谷、黒之上

三等(年度末95%以上完納)

大丸納税、浜、町、上野、新町、寺山、波留、淵、段、浦、遠矢、高之口、下村、上原、吉里、黒之浜納税

▽納税功労者表彰

東啓造、黒永勉、川畑芳美、倉津武三、中村筆次、赤務、慶越市蔵、別府国義、田島伊利、大下本松夫、米次鉄志、尾原盛治

田原芳太郎、田代重則、徳田次明、谷口昇、児玉利徳、西平孝志、上村伝蔵、宮原貞純、平田一男、羽田義成、栗林正文、笠井政江、猿栗憲治、牛浜三良、柘貞雄、馬見塚四男、宇都勝利、牛浜久義、落次丸、牟礼安美、花田市次郎、中野求、花田勝男

総合表彰式の中で、長年にわたる市勢発展のため貢献された七〇歳以上のかた五人が特別市民表彰を受けました。表彰者と経歴は、次のとおりです。

吉田さんら特別表彰

市民の模範として

▽地方自治部門 吉田市次郎さん(七〇・折口 昭和四十二年から五十四年まで市議会議員として、市勢発展に努力。昭和五十年から五十四年まで阿久根地区消防議会議長。昭和五十二年には全国議議会表彰を受ける。



吉田市次郎さん

之上 昭和三十四年から五十年まで市議会議員として市勢発展に努力。昭和四十六年から五十年まで文教厚生委員長。昭和四十四年と四十七年に全国議議長会表彰を受ける。



濱之上文雄さん

▽産業経済部門 洲崎太助さん(七四・倉津 戦後、漁船の動力化相互信用金庫阿久根支店を開設、支店長として市金融業界の充実に



洲崎太助さん

努力。昭和三十二年、市商工会議所が創立以来、副会頭をはじめ議員、参与、顧問として商工業の振興発展に尽力。



春田菊雄さん

▽社会福祉部門 丹宗久枝さん(七〇・本町 昭和三十六年、市更生保護婦人会を結成、以来会長として少年の犯罪、非行の防止に尽力。昭和四十五年、全国更生保護婦人会から表彰を受ける。昭和五十二年には、法務大臣より表彰される。



丹宗久枝さん

各部門の受賞者

農林部門

▽優良小組合 中村、高松、鈴木段、筒田、古里上
▽優良機能集団 赤瀬川いちご支部、中央畜産、桐野下果樹部会、瀬之浦下生活グループ、大瀬団地造林組合、米次竹林振興会
▽農政協力者 中津浜清、飛松政七、慶福市蔵、梶尾孫兵衛、山平正弘、大野貞夫、田上実、中園

大市、駄木栄成、植村利治、川原高雄、眞田正俊
▽優良農林業経営者 中内田次雄、野畑直、新穂金文、馬見新徳男、新杉伝吉、川上重夫、早水実落友治、石原義利、北平利雄、宮内勇、田平利恵、馬場貞雄、松元哲雄、川崎正人、吉野貞人、松木小衛、笹原一男、大尾幸男、慶越実広、要基多夫、釜登、波留正男、池崎綱義、中原操、西田初雄、宇都清任、八郷恭治、才原康高

水産商工部門

▽農業後継者 堂後和明、楠木栄二、末吉修
▽水産業功労者 新町利行、上松幸雄、坂元哲平、松永矢四郎、松木健一、小山千代吉、末吉実、尻無浜正刀
▽商工業功労者 市青色申告会、大平清、藤南一美、中央通り会、旭相互銀行阿久根支店、中織ニッ卜、園田辰雄
▽優良従業員 有馬純行、吉富稔威雄、西村賢一、福崎安徳、前

福祉・教育部門

田司、東園松男、花園三樹男、中津浜桂子、佐野義雄
▽観光事業功労者 奥平清見
▽社会福祉功労者 山下ヒサ、中園久美、斎藤洋三、京田利雄、大橋一雄、飛松勇蔵、松尾直義、大下本松夫、川畑明、竹原勇、池上博義、黒崎豊二、牛浜貞美、上野義治、奥平慶蔵、岡武徳
▽学校教育功労者 赤崎典夫
▽優良貯蓄団体 井手下婦人会、中田代婦人会、尾崎小学重貯金会

花田誓、奥平義則、若松真定、尻無栄、寺地重行、柏木正豊、河北実俊、迫口昭雄、川辺磯右衛門、橋本正治、寺下真左衛門、山平正弘、石沢悟、田上日男、白浜末義、平石正美、野崎勲、野村三守、跡上休作、内山陽子、斎藤洋三
▽国民年金保険料納入功労者 宇都タカ子、弓場義徳、大倉トミエ、東啓造、宮崎岩蔵、富永敏治、嶋屋操、大橋一雄、川畑芳美、倉津武三、田畑初高、富永岩吉、嶋矢之助、黒崎兼弘、中津浜清、築地新格、中村肇次、猿栗善治、飛松又男、牛浜三良、柳貞雄、馬見隆四男、宇都勝利、牛浜久義、盛永義行、奥千春、川崎武志、前田藤雄、米次鉄志、尾原盛治、田原芳太郎、田代重則、徳田次則、谷口昇、児玉利彦、西平孝志、上村伝蔵、宮原貞純、平田一男、羽田義成、栗林正文、赤務、慶福市蔵、中平次男、別府国義、村原麻麿、中平茂、田島伊利、大下本松夫、寺脇久、落次丸、牟礼安美、花田市次郎、中野求、花田勝男、花田誓、奥平義則、若松真定、尻無栄、寺地重行、小浦時衛、白浜末義、石沢正徳、双津喜六、柏木正豊、河北実俊、迫口昭雄、川辺磯右衛門、橋本正治、前田季弘、平蕨、松木幹夫、寺下真左衛門、山平正弘、梶尾孫兵衛、早水純雄、早水治義、石沢悟、田上日男、八郷信夫、石沢休次郎、高橋盛義
▽たばこ販売功労者 池田アイ、松崎敏嗣

市道整備4年計画を策定

市政スポット

約四万九千坪を改良

舗装率81%を目指す

市では舗装率八一%、道路改良率三二%達成を目標に、このほど市道整備四か年計画を策定。市道の新設、改良、舗装事業の実施に当たっては、路線選定基準を定めて計画に編入し、市の均衡ある交通体系の確立を図ることにしています。

市道整備四か年計画によると、四か年間に三万二千二百三十七坪を舗装して、五十三年度末七〇・五%の舗装率を、五十七年度末には八一・一九%とする計画です。また、一万五千六百九十四坪の市道を改良、五十三年度末二七・

年度	新設	改良	舗装	合計
54	697 ^m	3,249	9,404	13,350
55		4,320	8,655	12,975
56	300	3,825	7,447	11,572
57		4,300	6,731	11,031
計	997	15,694	32,237	48,928



四%の改良率を、五十七年度末には三二・五六%の改良率に引き上げるほか、九百九十七坪の市道を新設するよう計画しています。同計画は国道、県道、市道中央線、広域農道を基本道路網として策定。これらの道路と一体となつて、有効に連絡する路線を選定し、重点的に新設改良を進める考えで中央線は二車線、その他の幹線は

失対事業で舗装する山下・園田線

原則として完全一車線を確保するよう計画しています。

路線の選定にあたっては新設、改良、舗装事業の三段階に一定の基準を定めて選定しています。具体的選定基準として、舗装路線では①幅幅改良された路線で未舗装の路線②三戸以上の集落地または主要農林水産地帯と幹線などを連絡する路線③などを基準として定め、市内各地の経済活動や生活圏域の利用を高め、市の均衡ある発展を図ることにしています。

五十四年度は34線

約一万三千四百坪

五十四年度は三十四路線、一万三千三百五十坪を計画。すでに農道舗装事業と失対事業で行なう路線については当初予算に編入、一部は着手していますが、過疎対策事業や一般事業（広域事業）などで行なう市道新設、改良舗装の事業費については、六月十六日からはじまる定例市議会の一般会計補正予算に提案される予定です。このほか臨時地方道整備事業を予定、本年度も引き続き同事業が採択されると、七線二千九百五十坪を上積みして市道の新設、改良、舗装ができることとなります。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	区名
花田 勇作	末雄	大丸
小木曾奈美	新治	寺山
中野 綾香	正照	寺山
吉田 真美	卓治	大川島
田上 祐樹	連美	遠矢
中野 千春	武志	田代中
川畑 松子	實	折口恵
岩崎 勇士	信義	大川島
永田 育美	耕造	永田上
太田 生	弘治	大丸
松永 英樹	英雄	牛之匠
巻本 勝也	辰四郎	真
大塚 美也子	隆平	町
加世堂正昭	照幸	島
島 弘道	守生	段
花木 生吾	一廣	尻無中
太田 雅子	和良	町
西 真愛美	幸博	高之口
斉藤 伸香	晩生	飛松
長谷 拓郎	良一	大丸
牧内 英明	臣雄	牧内
江口 美樹	末秋	牛之匠
上西順明子	貢	橋之東
野崎 直人	一男	黒之西
岩淵 裕美	栄	脇馬場
神之田寿美	和徳	仲仁田
永井野直美	幸蔵	尾崎
中園 美穂子	和之	横手
新坂上夏希	市郎	段
新井 功生	眞一	飛松



完成した大川地区公民館。内内は落成式であいさつする川畑市長

大川に初の地区公民館

ふるさとづくりの拠点

三月末完成した大川地区公民館の落成式は、五月十二日大川小学校の屋内運動場で行われました。

午前十時、真新しい公民館前で神事が行われたあと、地区民約七十人が落成式に出席、市内で初の地区公民館の完成を祝いました。

落成式では川畑市長が「完成を契機に、従来にも増して、更に活発な公民館活動を行ない、お互いの知恵を出し合い、力を合わせて、魅力あるふるさとづくりを進めてください」とあいさつ。

地元代表の奥平慶蔵さんは「戦後三十年、公民館活動は住民の生活に定着しており、校区民の生涯教育、村づくりの拠点として活用したい」と謝辞を述べました。

同公民館は鉄筋コンクリート造り三階建てで、延面積三百三十一

正しい敬語③

電話は「はい、〇〇課（〇〇商店）です」と受けるのが常識です。自分がかかってきたのでない場合は「少々お待ちください」と言ってお待ちください。取り次ぐ相手が不在なら「〇〇は、ただいま席をはずしておりますが」、先方の名前を聞くときは「失礼ですが、どなたさまでしょうか」。声が聞きとれないときは「すみません、電話が遠いようですが」、繰り返し言

電話での応対

つてもらうときは「おそれいりますが、もう一度おっしゃって頂けますか」。これらは電話応待のきまり文句です。電話では顔の表情や態度の助けを借りることができないので、声の調子や言葉遣いに敬意が伴わないと不快感を与えることがあります。また、電話を取り次いだり、電話の内容を上司や同僚と相談するときは、送話口を手でふさぎ内論の話が先方に伝わらないよう気を配りたいものです。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がございました。

香典返し寄付（敬称略）

岩崎重義（牛之浜） 角光雄（波留） 茶塚実雄（桐野上） 坂元

文字（大丸） 松本和雄（戸柱）

吉村逸夫（本町） 遠矢益士（波留） 白根七蔵（弓木野） 倉津

長次郎（倉津） 中園学（橋手）

大野力（桐野下） 大田近（尻無下） 丸尾若夫（段） 花田秋光

（中屋敷） 日笠山光一（新町）

野田正子（上野） 大草唯明（藤本馬場） 西徳寺門徒一同（藤本

馬場） 本蔵義成（浦）

松くい虫を空中防除

市有林約70ヘクタール

このほど、市内大島、遊覧ヶ岡大川でヘリコプターによる松くい虫の空中防除が行われました。

早朝五時、陸上から海上へ微風のある絶好のコンディションで行われた防除には、二十七人の作業員が参加。重要な観光資源としてまた、大切な保安林として保護するため懸命に作業していました。

川を大切にしましょう

河川愛護運動にご協力を

川は大量の雨水を安全に流下させて、水害を防ぐことはもとより飲料水、工業用水、農業用水として必要な水を供給するなど、私たちの生活になくてはならない大切なものです。

また、魚つり、川遊び、川べりの草花つみ、昆虫採集など自然

に親しむ場を提供してくれるほか、河川敷や堤防の土手を利用して作られる広場では、スポーツが楽しめるなど、憩いの場所として欠かせないようになりました。

しかし一方では、生活污水などのために川の水が汚染され、魚などが年々少なくなっているのも事

実です。この「母なる川」を汚すことは、私たちの生活自体を汚すことにつながります。

五月二十一日から六月二十日までの一か月間は「河川愛護運動」の強調月間です。私たちの生活に潤いを与えてくれる水と緑のオーブンスペースは、私たち自身の手で守りたいものです。

「生活の川」であり「憩いの川」でもある河川を大切に、川にゴミや空きかんなどを捨てるのはやめたいものです。

災害に備えよう



土砂の流出が予想される大川・川畑の急傾斜地を点検する川畑市長ら

危険個所を防災点検

市では梅雨入りを控えた五月二十四日、市内の災害危険個所の防災点検を行いました。災害の未然防止をねらったもので、今年には急傾斜地の崩壊が予想される黒之浜一帯と宅地造成地など十一か所。

点検には川畑市長、小野助役ら市の幹部約二十人が参加。まず、急傾斜地に転石がある大鹿の山を点検したあと、人家集落地の裏山が急傾斜地である黒之浜や、たびたび床下浸水する折口川の下流、赤瀬川轟地区の宅地造成地の人工石垣などを入念にチェック。更に上野・新町の浸水常襲地帯の原因

と見られる池尻川を点検。環境保全のためにも、河口にたい積した土砂を除去して、池尻川の流れをよくすることにしました。

また、四十六年の大雨で土砂が流出、人家と市道を埋め尽くした聖園老人ホームの災害発生現場などを午前中は点検しました。

午後からは災害の常襲地となっている国民宿舎道路や、転石の採掘で土砂流出の恐れがある遠見ヶ岡など四か所を視察。馬見塚の人家に落石の危険性がある天狗山の岩石と、山の中腹から出水、土砂流出が予想される川畑一帯を点検したあと、浸水常襲地帯の洞・堀屋市管住宅付近などを点検。必要な個所は、早急に応急対策を行うとともに、付近の住民の避難などについて指導いたしました。

住宅付近の地形に注意を

例年、六月末から七月初めにかけて、九州南部に梅雨前線が停滞し、大雨災害が発生しています。特に阿久根市は、地勢的に山地が多いため急傾斜地が多く、地質的にも災害が発生しやすいようですので、早目に避難するなど、次のことに気をつけましょう。

▽テレビ、ラジオ、新聞などの気象情報に十分注意しましょう。

▽住宅付近に地割れやわき水はないか、石垣や擁壁に割れ目はないか点検し、水はけの悪い場合は特に注意しましょう。

▽「今までに災害が起こったことがないから」という安心感は禁物です。特にがけ下などに住んでいる人は早目に避難しましょう。▽市や消防署、警察署などの避難指導は必ず守りましょう。

有料道路通行料を割引 身体障害者を対象に

身体障害者手帳を持ち、下肢、体幹の機能に障害のある人で、自分で乗用車などを運転する人は、所定の申請をすれば有料道路の料金が半額になります。この割引証は市福祉事務所が発行しますので、身障者手帳、免許証、車検証、印かんを持って申請してください。詳しくは、市福祉事務所にお尋ねください。③1-2-11④4-1-3

簡易保険作文コンクールにご応募を

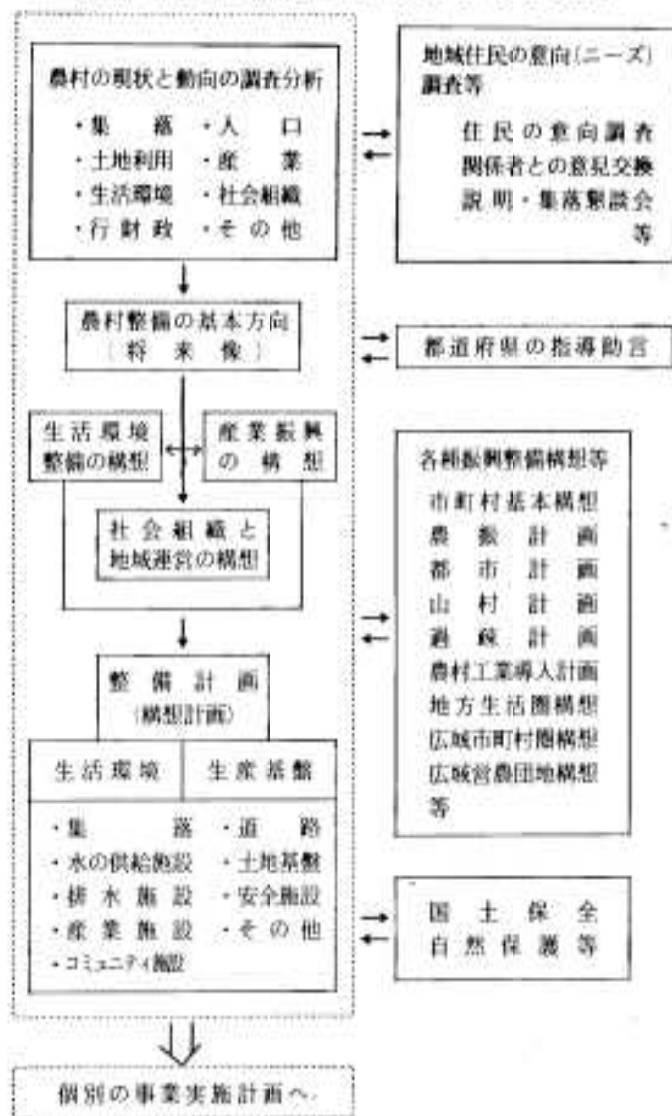
郵便局では全国の小中学生を対象に簡易保険の作文コンクールを行います。応募の資格、方法などは次のようになっていますので、ふるってご応募ください。

- ▽応募資格 小学校五、六年生 中学校一、三年生
- ▽作品題 ①課題「簡易保険」に関するもの。
- ②自由題。

- ▽応募方法 ①四百字詰め原稿用紙五枚以内。
- ②あて先は近くの郵便局。

③締め切り「六月三十日、十月入選発表。」
応募者全員に参加賞があります。

農村総合整備計画作成の手順と内容



農村総合整備計画を策定へ

生産基盤や生活環境を整備

活力ある美しい農村を目指す

市では農村の生活環境と生産基盤を総合的に整備し、豊かで住みよい農村の建設を目指して農村総合整備事業を導入する考えで、近く農村部を対象に、住民の意向調査を行うことになっています。そこで同事業の概要についてお知らせします。

農村総合整備計画は、自然と生産活動と生活が一体となつた活力ある美しい農村づくりを目指して、農村の生産基盤や生活環境などを整備し、農村の総合的な発展構想をたてようというもので、従来の農村総合整備モデル事業を実施し、

政サイドの計画策定から、住民サイドの計画策定が特徴です。このため計画策定では、地域住民の意向調査を行い、農村の現状と動向を分析、十年後の農村のありべき姿を想定して、農村の将来の発展構想を策定します。これに基づいて①農業生産基盤整備事業②農村環境整備事業③農村環境施設整備事業などの農村総合整備モデル事業を実施し、

五十六年度事業実施 近く住民の意向調査

農村の生産基盤、生活環境などを整備して、若い人たちが農村に残れる活力に満ちた魅力ある農村社会を形成しようとするものです。住民の意向調査によって出された要望や地域の問題点は、行政と住民が一緒になって部落協議会で話し合つてから集約、住民本位の計画を立てることになっています。

農業生産基盤整備事業は従来から実施されている農業構造改善事業と同じような事業ですが、農村環境整備や農村環境施設の整備事業は、初めて補助事業(70%)の対象となつたものです。

事業の実施にあたっては、農業振興地域の実情と地区の要望に基づいて事業を実施します。また、これらの事業のほか、共同畜舎共同倉庫など、農業生産施設の整備が必要な場合は、農村総合整備モデル事業の計画と合わせて、更に総合的な計画をたて、既存の制度を利用することになります。

農村総合整備計画は本年度中に策定し、来年度実施設計を完了、本格的な事業着手は五十六年度から約十四億円を投入して七年計画で行う計画です。住民の意向調査は、計画策定の基礎資料となりますので、調査にご協力ください。

「冥福を お祈りします」

- | | | | | |
|-----|------|----|--------|-------|
| 若松 | チヨ | 97 | (尻) | 中純造 |
| 中村 | 兼吉 | 83 | (尾崎) | ツヨノ |
| 徳田 | フチエ | 71 | (末佐木野) | 住文 |
| 牟禮 | 権太郎 | 80 | (牛之浜) | 昭英 |
| 富吉 | 善太 | 57 | (佐) | 鶴徳子 |
| 鶴田 | ミツ | 55 | (末佐木野) | 重盛 |
| 中野 | ツヤ | 80 | (約) | 場庄吉 |
| 尾上 | 武二 | 74 | (飛) | 松ツタエ |
| 尾崎 | スエキ | 85 | (尾崎) | 宮野スミエ |
| 野原 | 立八 | 78 | (淵) | みな |
| 岩崎 | 幸 | 55 | (牛之浜) | 重義 |
| 岩切 | ナツノ | 79 | (淵) | 定二 |
| 小田原 | チエ | 74 | (浜) | 益雄 |
| 日笠山 | 光樹 | 84 | (新) | 町トメ |
| 坂元 | 改造 | 58 | (大丸) | 文子 |
| 野田 | 徳蔵 | 52 | (上) | 野正子 |
| 中園 | 和助 | 81 | (横) | 手學 |
| 荻野 | 義夫 | 79 | (大丸) | フク |
| 小島 | ヒサ | 59 | (本町) | マチエ |
| 吉村 | キクエ | 70 | (本町) | 逸夫 |
| 尾崎 | 忠尚 | 21 | (尾崎) | 清信 |
| 倉津 | 長吉 | 90 | (倉津) | シケ |
| 江藤 | ミオ | 81 | (下) | 村典雄 |
| 石澤 | ソノ | 94 | (鶴之東) | 谷口エイ子 |
| 大草 | 顯彰 | 62 | (脇馬場) | 貞子 |
| 外戸 | 口テル | 69 | (古) | 里松吉 |
| 茶屋 | 戸左衛門 | 85 | (桐ノ上) | 實雄 |
| 中村 | ツヨ | 73 | (藤本街) | 茂 |
| 花田 | サキ | 90 | (中屋敷) | 美加 |
| 白肌 | ヲト | 67 | (弓木野) | 七藏 |

三二情報

30年ぶり帰郷 母校に寄付

大久根・築地博美さん



今春、三十年ぶりに阿久根に帰郷、大丸町に住んでいる築地博美

さん(左)が、金一封を阿久根小学校に寄付し「母校にお世話になりました。私が生徒の時は、本の数が少なかったのですが、それでもむさぼり読んだものです。本代にでもなれば」と話しました。
同小の平野幸男校長は「その意に反しないように、子供たちのために役立てます」とお礼の言葉を述べました。

技能検定合格者

▽一級合格者 牛之浜清加(建築大工) 大藤重實(農業機械整備) 大田寛二(型わく職工)
▽二級合格者 大田和男、大田健次、尻無浜弘幸、恒吉次朗、橋口和弥(以上建築大工) 寺地徳実(型わく職工) 松本明美(農業機械整備) 井上太郎、大石長久、切通良房、下内田一、中野英敏、西田博(以上配管)

天然ブリの大漁で活気

阿久根 新港 千七百本を水揚げ

六月一日朝、新港水揚げ場に天然ブリ千七百本が水揚げされました。イワシ、サバの水揚げでにぎわう新港も、この日は五時から八時の見事な天然ブリが次々に水揚げされ、活気づいていました。

水揚げしたのは鹿児島市の第五十七まるさん丸(二百四十ト)と牛深市の第二十八まるしよ丸(十九ト)の二隻。二隻ともまき網船でいつもはアジ、サバ、イワシ漁がおも。三十一日夜、牛深沖を操業

していたところ、戦時中に撃沈した巡洋艦「長良」の周辺をブリの大群が回遊、一網打尽に水揚げとなったものです。
水揚げされたブリは、さっそくセリにかけられました。季節はずれとあってキロ二百八十八円の

小漣ピワ、北九州で一粒70円

六ト、三百六十万円の売上げ



ピワを収穫する農家の人たち

袋がけされた脇本・小漣のピワが北九州方面に出荷され、店頭で一粒当たり七十円の高値を呼んでいます。
脇本・小漣では温州ミカンに代わる作物として、十年前からピワ栽培に取り組み、現在三割に栽培。四年前から十六戸の農家がピワ生産グループを結成して、品質や外観のよいピワづくりを目指しています。
ピワは十二月頃開花、形の大きなものにするため、三月頃生りす

きたピワを一枚三粒ずつに摘果。一枚ごとに紙袋に包み、外観のよいピワに成育させ、五月上旬から収穫。五月いっぱいまで出荷を終えています。
市場での値段は一ケース(三ト入り)平均二千二百円で、七十粒前

安値で落札、しめて三百七十万円のブリが、東京・大阪方面に向けてトラック輸送されました。

阿久根新港では、先月十六日朝も、天然ブリ四千本が水揚げされたばかり。イワシ、サバ、アジなど青物の水揚げが多いなかでのブリの大漁とあって、水揚げ作業の手もはずみ、浜っ子の表情は、活気に満ちていました。

後入り、店頭では二・三倍の値段で出回っていますので、一粒のピワは七・八十円という値段になります。今年は好天気に恵まれ昨年の三倍、約六トを収量。三百六十万円の売上げとなりました。

言語障害をきょう正 ことばの教室を開級

阿久根小学校

昭和五十四年度の「ことばの教室」が開級、その入級式が五月二十二日、阿久根小学校で行われました。

「ことばの教室」は、いわゆるどもりなど、話しことばに障害を持つ子供に対して教育的配慮のもとで、その障害を取り除いて改善したり、個人の能力、興味や関心に合わせて適切な助言、指導をして言語治療を行う教室です。

昭和五十年から始まった同教室は今年で五回目、今年は四十人が入級しました。式では、平野幸男校長が「今までこの教室に入ってきた人は、たいへん上手にしゃべれるようになっていきます。皆さんもしっかりがんばってください」と激励しました。

また、入級式が終わってから親の会があり、専門指導の板坂義明先生らは一子供たちの上手な話し相手となって、温かく見守ってください」と、意見を述べました。

ちよつと

ちよつと



やめよう空きかんの投げ捨て

空きかんやタバコの吸いがらなどを、道路の側溝や土手などに投げ捨ててあるのをよく見受けます。

空きかんなどの投げ捨ては美観を損ねるだけではありません。側溝に投げ捨てた空きかんのために、排水が悪くなったり、土手に投げ捨てた空きかんのために、草刈り機の刃を傷めることもしばしばです。まとめて捨ててあるタバコの吸いがらなどから、道路わきのゴミのほとんどは、ドライバーが投げ捨てたものと考えられます。空きかんなどの投げ捨てはやめたいものです。

(山下・本田国定さんの提言)

お母さん夕食はまかせて!

料理講習会の成果実る



熱心な顔の「調理師」たち

農作業などで夕食の遅い家庭で子供が母親にかわって料理を作れたら。と始められた浦部落の料理講習会が見事に実を結び、今では立派な「調理師」として子供たちが夕食などを作り、お母さんたちを大変喜ばせています。

昨年四月から始まった同講習会は、公民館活動の一つとして中津浜公民館館長を中心に子供育成会、社会教育課が一体となつてすすめ、小学校五年生から高校生を対象に毎月二回、行われています。調理の指導をしている栄養改善推進員の一人である中村シズエさん(左)は、「今では子供たちが、



胃ガンの早期発見

の好みが変わった、むかつく、またれる、空腹時に痛むなど、慢性胃症のときにも、また、かような

ときにも現れる症状です。

三十五歳以上のガン年齢の人は早期発見のために、何の症状がな

なくても、年一回は必ず胃の集団検診を受けることが大切です。毎年受診していると、手遅れになることはありません。症状がでたときは、手遅れになることが多いということを強調しておきます。ガン年齢の人はもちろん、若い青年の人たちも、進んで集団検診を受けましょう。それが胃ガンを撲滅する道につながります。(出水郡医師会)

私のお父さん ⑬

田代小4年生 小園京子



小園重義さん

私のお父さんは、大工をしています。いつも夕方七時ごろ帰ってきますが、仕事で忙しい時

などは、夜の八時か九時に帰ってくることもあります。お母さんは、お父さんが仕事で遅くな

ると「とうちゃん遅かね」と言います。やさしいお母さん。帰ってきたお父さんは「今日も一日、がんばってきたよ」と

言わんばかりに疲れた顔をしています。私は「お父さんはいっしょうけんめい仕事をしているのだなあ」と思います。

悪いことをすれば怒るけど、ふだんはやさしいお父さん。

わたしは、そんなお父さんを一回でいいから休ませてあげたいと思います。

カボチャのそぼろ煮など、大人も願ひの料理まで作るのですよ」と、その熱心に感心。

さん(左)は、「今では、習ったものは全部作れます。今度は、お父さんに、焼酎のしおけ」を作ったあげたい」とはりきっています。

地区民の幸せ願ひ 毎月広報紙を発行

船本駐在所の田代巡査部長

船本駐在所の田代照夫巡査部長は、毎月、広報「みかさ」を発行



編集に励む田代巡査部長

し地区民に親しまれています。

広報紙には「夏の犯罪防止」や「全国交通安全運動」など、発行

月の重点運動のほか、「よい子の紹介」など明るい話題も掲載、親しまれる紙面づくりに努めています。その努力が実って、昨年は阿久根警察署ではただ一か所、県警

主催の広報コンクールに入選、全国コンクールに参加しています。

田代巡査部長は人なつこい笑顔で「広報紙を通じて、私の気持ちがあわかってもらえたら」と、編集に余念がありません。

8月から実施になる市街地の交通規制



市街地を重点に交通規制

3号線 一時停止など強化

昨年、市内で発生した交通事故は、前年度に比べ四八%増の百三十一件で、全体の五四%の七十一件が国道3号線での事故です。

なかでも最も多いのが市街地で三十二件発生しています。事故の形態では追突事故、右折車と直進車の衝突、右左折車に歩行者、自転車との接触などがほとんどです。国道3号線は大型車両の通行が多くなり、交通の危険度が非常に高く、右折車のために後続車両が通行できず、交通が停滞することもしばしばあります。

そこで岡久根警察署では、国道3号線の交通事故防止と交通の渋滞を緩和するため、次のように八月から速度制限などを行うことにしています。

▽速度制限
四十、制限一現在五十、制限の赤瀬川橋口青果前から井上石油前を四十、制限に変更。

五十、制限一、大川長迫入口から大川カーブ入口まで五十、制限。

▽自転車歩道通行できる場所
多田の植村産菜前から市総合グラウンド入口までの歩道。市街地の歩道、西目駐在所前から長迫入口前までの歩道。

▽一時停止
国道3号線に出る横筋の大部分を一時停止の場所に指定。

被保険者の中には、一日のうちにも同じ病気で数か所の病院にかかっている人がいます。このような診療状態では、病気が治るどころか、むしろ悪化させる場合もあります。医師は一定の経過を見ながら治療方針をたてます。むやみな「はしご診療」をしては治療の方針がたてられず、治るべき病気が治りません。

国保シリーズ③

はしご診療は危険

治療費のムダづかいはないか、危険な「はしご診療」はないか、反省してみたいものです。

ダブかきになります。医療費はお互いが苦しい中から出し合っている保険税などから支払われています。医療費がかさむと、保険税が高くなり、私たちの生活はますます苦しくなります。お医者さんにかかるときは、もう一度、自分の診療状態を振り返り、医療費のムダづかいはないか、危険な「はしご診療」はないか、反省してみたいものです。

母子家庭に介護人を派遣

十五歳未満の児童を養育する父子・母子家庭に対して、介護人を派遣する制度があるのをご存知でしょうか。

このような家庭で、児童の父または母が、病氣や冠婚葬祭などのために、一時的に児童の世話をしてくれる人に困った場合、無料で介護人を派遣する制度です。

ただし、低所得者の父子・母子家庭となっています。ご希望の方は、各部落の母子会長にご相談ください。

なお、介護人の主な仕事は次のとおりです。

- ①乳幼児の保育 ②食事の世話
- ③住居の掃除 ④身の回りの世話
- ⑤生活必需品などの買物 ⑥医療機関などとの連絡 ⑦その他必要となる業務。

自衛官を募集

防衛庁では、昭和五十四年度の自衛官(二等陸・海・空士)を次

▽一方通行など

上の図のように、一方通行と指定方向外進行禁止が指定され、八月一日から実施されます。

の要領で募集しています。

▽受付期間 常時行っています

▽応募資格 採用予定月の一日現在、十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する男子で、自衛隊の欠格条項に違反していない人。

▽試験期日 受付時に通知

▽試験科目 筆記試験(国語・数学・社会および作文)、口述試験、身体検査

▽志願手続 志願書類の請求および提出は、市役所でできます。

詳しくは、市役所市民課まで。

☎1211 内線422

水田の転作に 奨励金を支給

政府は、自給作物の拡大のための生産調整を行っています。

これにより本市では、今年の割当面積六三〇ヘクタールを達成するため転作を奨励していますが、現在五十八ヘクタールです。さらに、皆さんの自主的な転作により、目標を達成できるようにご協力ください。

▽七、当りの奨励補助金は

奨励補助金は、特定作物(大豆、そば、麦類、飼料作物)および、

永年作物が四万九千円、一般作物(野菜類)は三万四千円です。さ

らに、地区ぐるみの計画転作には

七千一、二万円の範囲で奨励金が加

算されます。詳細は農政課まで。